

## 2001年度富士フィルム レスポンシブル・ケア(RC)方針

2001年度の富士フィルムRC方針は、その適用範囲を子会社まで広げました。環境施策を連結ベースで進めています。

### 基本方針

一人一人の社員、一つ一つの組織がレスポンシブル・ケアに自主的・継続的に取り組み、「環境・安全上健全であり続ける富士フィルム」を実現する。

### 行動指針

- (A) 環境、経済及び社会の各側面を総合的に配慮し、持続可能性確保に向けた施策に取組む。
- (B) 法律、及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。
- (C) 原材料採取及び調達、生産、物流、製品使用及び製品廃棄を含む製品ライフサイクルのすべての段階を視野に入れ、環境負荷低減及び安全確保に努める。
- (D) ゼロ・エミッションを実現する。
- (E) 無事故・無災害操業を実現する。
- (F) 積極的な情報提供に努めつつ、社外関係者との適切なコミュニケーションを確保し、パートナーシップを強化する。

### 重点実施事項

#### 1. ISO14001に準じた管理体制の整備と充実

- (A) 化学物質の管理を継続的に改善する。
- (B) 原材料、機器、備品、用品等の「グリーン購入・調達」体制を充実する。
- (C) 環境会計システムを構築する。
- (D) 容器包装について環境負荷を削減するための管理システムを整備する。
- (E) 環境配慮設計を行うための管理システムを整備する。
- (F) RC教育実施のための管理システムを整備する。

#### 2. 環境・安全パフォーマンスの改善

- (A) 懸念化学物質の使用量削減、排出量削減、代替物質開発等によるリスク低減を実施する。
- (B) 揮発性有機化合物の大気排出量を削減する。<sup>\*1</sup>

(C) 廃棄物の減量化、再利用、再資源化を推進し、ゼロ・エミッションを実現する。<sup>\*2</sup>

(D) 省エネ及び炭酸ガス排出削減施策を推進する。<sup>\*3</sup>

(E) 生産サイトにおける環境モニタリングを強化する。

富士写真フィルム(株)のパフォーマンス数値目標

<sup>\*1</sup> 揮発性有機化合物の大気排出量を2002年度までに50%(1996年度基準)削減する。

<sup>\*2</sup> 焼却及び埋立て処理される各サイト排出廃棄物を2002年度末までにゼロにする。

<sup>\*3</sup> 51千トンC/年以上の炭酸ガス排出削減効果をもたらす施策を2010年までに実施する(この削減量は、1998年度炭酸ガス排出量の26%に相当する)。

#### 3. 社外関係者との適切なコミュニケーションの確保とパートナーシップの強化

- (A) MSDSによる情報開示の充実等、必要な環境・安全情報を社外関係者に適切に提供するための体制を確立する。
- (B) 環境レポートの充実、サイトレポートの発行、ホームページの活用などを通じ、当社のレスポンシブル・ケアへの取り組みを適切かつ積極的に社会に伝える。
- (C) 行政・業界活動への協力及び地域活動に積極的に取組む。